

建設コンサルタントの役割について

手稲宮丘小学校三年 関 日奈詩

私たちがくらしている町には、水道、下水道や電気、ガスなどがあります。そのようにみんなと一緒に使う生活にかかせない物を、「社会しほん」というそうです。それを、つくって→なおして→工夫する、ということを「せいび」といい、あわせて「社会しほんせいび」といいます。

私が調べてきたり聞いたりした建設コンサルタントの役割のことや、橋、トンネルの工事現場のことを六つ話します。

一つ目は、身近にある物のことです。建設コンサルタントの人たちは、水道、下水道、電気、ガスなどのライフラインを設計したり、道路や鉄道、地下鉄、公園のデザインなどもしているそうです。私はそんなことをしているとは知りませんでした。

二つ目は、災害対策のことです。大雨や台風による河川氾濫から生命と財産を

守り、地震がきてもこわれない橋を設計したり、
がけくずれや地すべり、雪や氷から私たちの
暮らしを守ったりもしているんだそう
です。私たちが安全にくらせるのは、そのおかげ
だと思います。

三つ目は環境に関することです。
貴重な動物や植物などの保全、イトウ、サケ、
サクラマスなどが生息する豊かな自然を守る
ことなども、建設コンサルタントの人たちが
しているそうです。私のお父さんの仕事は、
このような仕事だそうです。

四つ目は、社会しほんを長く大切に
つかうための点検です。橋や道路やトンネルなどを
長く大切に使えるように、ていねいに点検を
したり、傷んだところを手当てして長い
きるようになっているそうです。

五つ目は、高速道路の役割についてです。
お肉、野菜、お魚などのしんせんな物をとど
けることができたり、短い時間でスイスイ
移動ができます。

六つ目は、トンネルのことです。
 トンネルをほって出てきた水をそのまま川に流すと、環境にわるいので藻をいれて、土のつぶを下にためてきれいにな。てから流すそうです。トンネルから出てくる石は、色々なしゃるいがあって全部同じ重さに見えるけれど、かるい物と重い物の差がとてもあったのでおどろきました。トンネル形は「ばていけい」という形だそうです。丸は力をうけにくく、四角は、うけやすいので、それをあわせた「ばていけい」という形です。

わたしは、さいしょ「社会
 しほんせいび」という言葉が
 よく分かりませんでした。
 でも、せつ明を聞いたたり、調
 べたりしてとてもよく分かりました。建設コ
 ンサルタツツのトたちが毎日色々な仕事をし
 てくれていることにとってもかんしゃしていま
 す。

